

【 動物総合センター 】

第1 動物愛護管理・狂犬病予防事業

1 化製場等の指導事業

化製場等の施設数及び監視指導状況

	化製場	死亡獣畜 取扱場	死亡獣畜処 理場外処理	法8条の 準用施設	動物の飼養 又は 収容施設	動物 処理場	計
施設数	—	—	—	—	32	13	45
監視指導件数	—	—	—	—	13	1	14

※動物総合センターでは、動物愛護や公衆衛生上の観点から動物の飼養または収容施設、動物処理場の監視指導を実施している。

2 犬登録事務事業

「狂犬病予防法」により、犬の飼い主には、飼い犬に生涯一度の登録及び年一度の狂犬病予防注射の実施が義務付けられている。

市内及び近郊の動物病院に対し犬の登録事務及び狂犬病予防注射済票の交付事務を委託し、実施率の向上を図っている。

なお、4・5月に実施予定であった市民ホーム等を会場とした集合注射は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月12日～5月18日に実施予定であった会場を中止した。

犬登録等状況

実施場所	登録総頭数	新規登録頭数	注射頭数
動物病院	—	1,242	18,632
その他	—	612	1,659
計	23,148	1,854	20,291

3 動物愛護管理事業

「狂犬病予防法」、「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「岡崎市動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき、放浪犬等の保護、動物の適正飼育管理指導、飼えなくなった犬・猫の引取り等を行うほか、犬・猫の新たな家族探し、第一種及び第二種動物取扱業の登録業務及び監視を行っている。

また、特定動物（ゾウ・ニホンザル等）の飼養・保管についても現地調査を実施するなど許可業務を行っている。

(1) 犬の保護等実施状況

放浪犬等の保護頭数		48
放浪犬等の返還頭数（返還率）		36(75.0%)
犬・猫の引取り頭数	犬	1
	猫	253
負傷動物保護頭数	犬	—
	猫	18
	その他	—
苦情・相談件数	犬	2,059
	猫	1,426
	その他（野生動物等）	526
犬による事故届件数	登録犬	15
	無登録犬	1
特定動物飼養許可	許可件数（施設数）	6(4)
	飼養許可頭数	89
	監視指導件数（施設数）	3(2)
第1種動物取扱業登録数	販売	63
	保管	96
	貸出し	10
	訓練	16
	展示	12
	競りあっせん	1
	譲受飼養	—
第2種動物取扱業届出数	譲渡し・保管・貸出し・訓練・展示	4
野生動物保護頭数	飼い主がないと想定できる場合	30
犬・猫の家族希望者への譲渡頭数（譲渡率）	犬	15(115.4%)
	猫	200(74.6%)
特定外来生物及び愛知県指定種対応件数		14

※特定動物の動物種は延べ4種（アジアゾウ、ニホンザル、ミドリザル、ワニガメ）

※特定外来生物及び愛知県指定種対応は環境保全課からの依頼等による。

(2) 猫の避妊処置事業

平成24年度から、飼い主のいない猫を減らすことを目的とし「猫の避妊処置モデル事業」として開始し、令和3年度より事業名を新たに本格事業化した。地域全体でそれら猫による被害がある場合、市と地域が協力して猫を捕獲し、メス猫は市が避妊手術を行い、オス猫は地域で去勢手術を行うことにより飼い主のいない猫の減少を図るために実施している。

実施地域数	避妊手術実施（メス猫）	去勢手術実施（オス猫）
7地域	30頭	28頭

4 動物愛護普及啓発事業

「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「岡崎市動物の愛護及び管理に関する条例」に基づき、動物は命あるものであることを認識し、むやみに繁殖させないため避妊・去勢手術の実施、動物の習性を理解したうえでの終生飼養等について、パンフレット、チラシの作成配布等により普及啓発事業を行い、動物愛護意識の高揚を図っている。

講座・イベント名	講師	開催日	会場	参加者・組数
動物愛護ボランティア養成講座	垂谷 智子氏	6月24日 7月1日 7月6日 7月13日	動物総合センター	5人
動物愛護週間イベント 動物愛護パネル展示	—	9月19～26日 (21日除く)	動物総合センター	—
ご長寿犬猫のお祝い記念行事	—	9月	—	犬177名 猫7名
職員出前講座	動物総合センター職員	11月16日 11月19日 12月17日	依頼先	70人
パピースクール	動物総合センター職員	4～7月、10～3月 全11回	動物総合センター	51組
Animoしつけ相談	H A P	4月～3月全12回	動物総合センター	89組
事前講習会	動物総合センター職員	4～3月 全20回	動物総合センター	54組
動物愛護講演会 災害、その時ペットは ～飼っていない方にも知って もらいたいこと～	佐伯 潤氏	動画配信のみ	—	—
なかよし教室	動物総合センター職員	全5回 5月12日以降中止	動物総合センター	3園

5 災害時の動物に関する対策

東海地震等の大規模な災害発生時において、市民の危害を防止すると同時に動物の生命救済を図るため、放浪犬等動物の一時収容について岡崎市獣医師会と「災害時の動物収容活動及び救護活動に関する協定」を締結している。この協定に基づき、収容した被災動物のための飼料の保管を岡崎市獣医師会に委託（災害時緊急用飼料保管委託）している。令和3年度は16か所の動物病院にて飼料を保管した。

6 動物総合センターの施設利用状況

動物総合センターの多目的ホール及び研修室については、貸館として貸出しを行っている。

	利用人数	利用団体数
多目的ホール	335人(17件)	5団体
研 修 室	213人(19件)	8団体